

英語科

【研究主題】

様々な文化や考えを持つ人との関わりを通して、新たな「自分」を発見する生徒の育成

【研究副主題】

思いや考えを伝え合い、自己を見つめる学びの追究

公開授業

学級：2年3組 授業者：松園 京子



Report on Our Research Results

～調査の結果を比較表現を用いてわかりやすく伝えよう～

現行の学習指導要領では、「話すこと[発表]」領域の目標に、「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようになる」が挙げられています。本校でも、学年ごとに段階を踏みながら、スピーチやプレゼンテーション等の「話すこと[発表]」の表現活動を展開してきました。

しかし、学習が進む中で、語彙や表現に関する知識は着実に獲得しているものの、既習事項の活用に課題があり、「伝えたいことが英語で伝わった」、「聞き手を惹きつける発表ができた」という達成感を持たせるには至らず、苦心しています。

今後更にグローバル化が加速し、国際社会の中で活躍することが求められる中学生に、英語で自分の考えや思いを豊かに表現する英語力と自信をつけさせたいという願いから、

今回は **“これまでの学びと相互評価を活用して、表現力を磨く活動”** を御提案します。比較表現を効果的に活用して、調査結果をプレゼンテーションします。

本時は、本発表会前のプレ発表会を実施します。本校生徒が互いの発表を観察して、何に気づき、本発表に向けてどのように改善していこうとするのか、その過程を御覧ください。

メタ認知との関わり

これまで実施してきた「話す」活動では、振り返りにおいて、「よりよい発表」を目指すポイントを確認し、以後の活動につなぐことを意識してきました。2年生では前単元のプレゼンテーション活動において整理した「話し手のポイント」「聞き手のポイント」や、お互いの「評価」、そして一人一台端末で録画した自分たちの発表の様子といった客観的な資料を合わせて、自分たちの発表を振り返る場面を設定し、メタ認知的知識の活用を促します。これまでの学習経験を生かしながら学びに向かう生徒の姿を御覧ください。

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年12月13日（金） 13:00 ～ 16:05